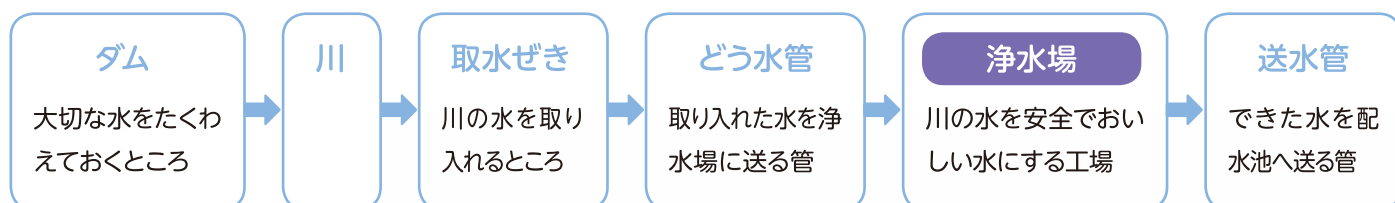


(3) きれいな水ができるまで

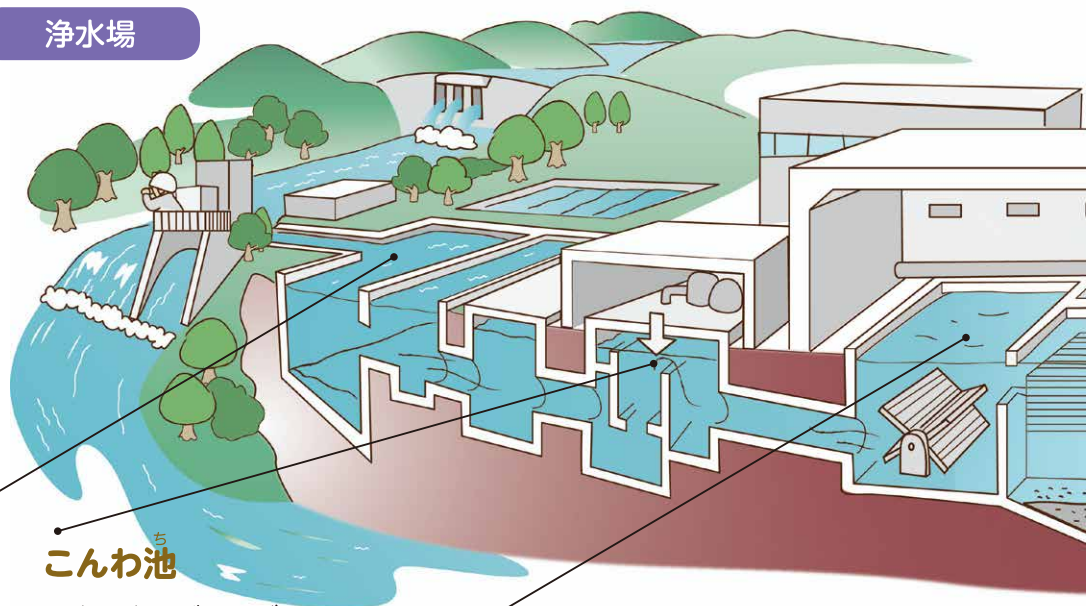
① 水道の水はどのようにつくられているのかな？

水道の水は、もともとは川の水です。その水は、取水ぜきから浄水場^{じょうすいじょう}に送られます。

浄水場では川の水にふくまれる砂やごみ^{すな}が取りのぞかれ、消毒^{どく}することで安全で
きれいな水になります。そして、配水池^{はいすいち}などにたくわえられ、配水管・給水管^{はいすいかん きゅうすいかん}を通して、
みんなの家庭や学校・ビルなどにとどけられます。



浄水場



こんわ池^ち

水の中のどろやごみ
をしずめやすくするた
めに、薬を入れるところ。

ちんさ池^ち
沈砂池



川の水をいったんためてまじっている砂などを
しずめるところ。

けいせい池^ち
フロック形成池



しずみにくい小さなごみをかたまり（フロック）にして
しずみやすくするところ。



本当にきれいになるか
やってみよう。

〈ペットボトルを利用して〉



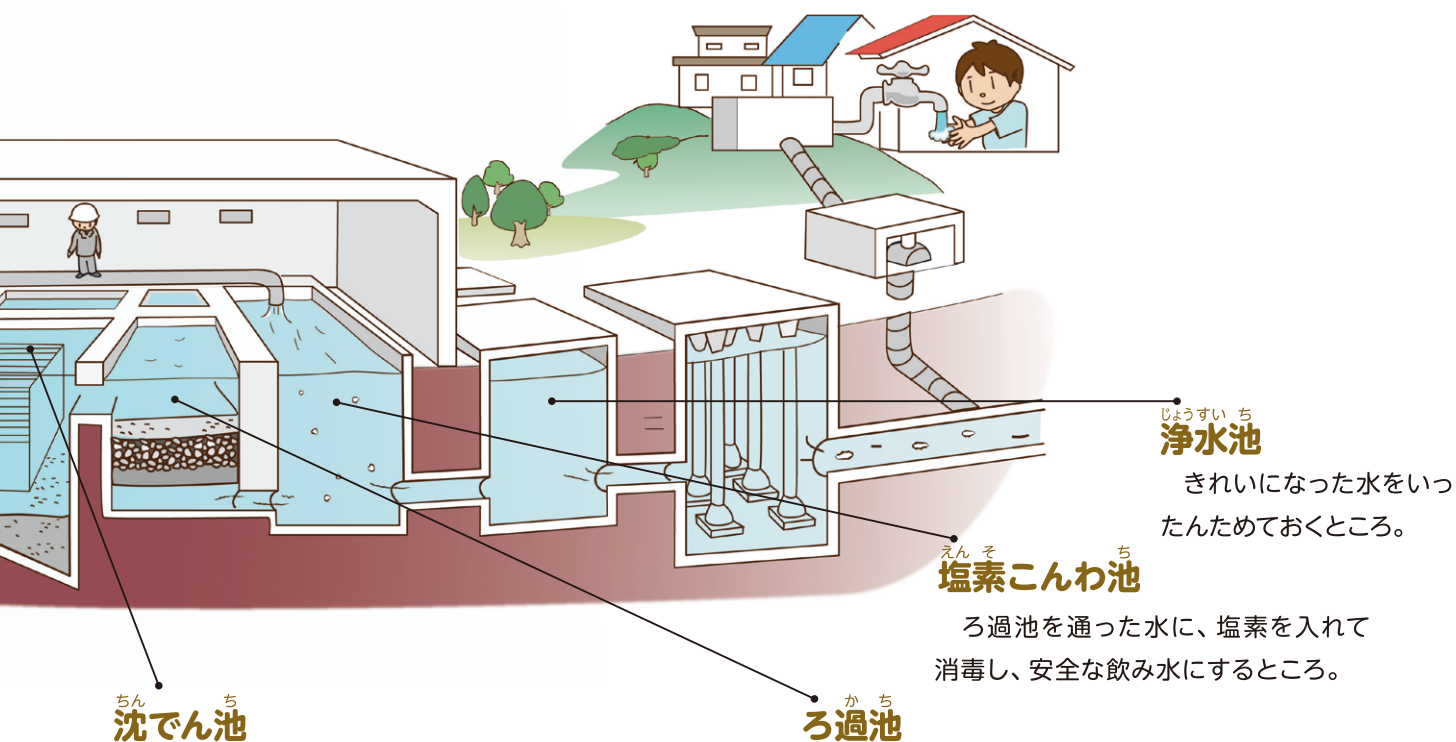
配水池

浄水場から送られてきた水をいったんためておく池

配水管・給水管

みんなの所へ水を送る管

学校・家庭



沈でん池



水の中のフロックをはずめて、とりのぞくところ。

ろ過池



水を細かい砂の層に通して、きれいにするところ。

浄水池

きれいになった水をいったんためておくところ。

塩素こんわ池

ろ過池を通った水に、塩素を入れて消毒し、安全な飲み水にするところ。

②水道を守るためにどんなことをしているのかな？

川のパトロールをする人



水道水のもとになる川の水がよごれていないかパトロールしています。

水のけんさをする人



水にふくまれているものを、くわしく調べています。

バイオアッセイそうち



水にふくまれているものの変化にびんかん魚を使い、魚の動きが変わることによって水質

の変化をとらえる方法です。札幌市では五つの浄水場すべてに置いています。

浄水場を管理する人



安全でおいしい水を作るためのしせつを管理し動かしています。

水の流れを管理する人



どの場所で、どれ位の水を送ればよいか、管理しています。

水もれを見つける人



水をむだにしないように、地下にある水道管から、水もれがしていないか音を聴いて調べています。



ダムのパトロール

十分けんさしているのに、
どうしてパトロールまでするんだろう



ほかにもこんな仕事があるよ

水道管の工事をする人



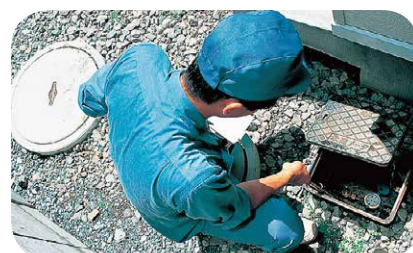
古くなった水道管をとりかえて、水もれをふせいだり、地しんに強くしています。

こわれたところを直す人



水道のしせつ・せつびがこわれたら直します。(写真は、配水管を直す訓練をしているところ。)

使った水の量を調べる人



学校や家庭の水道メーターをみて、使った量を調べています。この仕事を検針といいます。

③上手に水を使うためにどんなことができるかな？

水を出したまま歯をみがくのは、
やめましょう。



コップ3ばいですすぐと0.6Lですみます。
でも、このとき水を出したままにしていると、
この10倍も流れてしまいます。

せんたくは、少ない水で
上手に行いましょう。



お風呂の残り湯を使ったり、何回も分けず、まとめて洗っ
たりしましょう。

じゃ口の開け閉めは、
上手に行いましょう。



少しだけひねって使うと1分間で6L流れます。いっば
いにひねって使うと1分間で20Lも流れてしまいます。

水もれしていないか、
かくにんしましょう。



水道管に耳をあてると、水を使っていないのにシュー
シュー音がしませんか。水せんトイレを使っていないのに
水が流れていませんか。こんなことが起きていたら水も
れです。水道局に相談しましょう。

❓ これからは水をどのように工夫して使えばよいかな？

水道水は多くの
努力で作られてるよ。
これからどうやって
使おう？